



「冬休みの思い出」

皆野小3年

関根 小紅さん
こべに



わたしの家では、毎年、お父さんの本家の家でおもちつきをしています。わたしは、おもちつきを楽しみに待っています。理由は、親せきやいところが集まって、おもちつきをやるし、木のうすときねでついたおいしうできたてのおもちが食べられるからです。

おばあちゃんとお父さんが、うすときねでおもちをついている間に、いとこたちと遊びました。そうしたら、あつという間におもちができました。

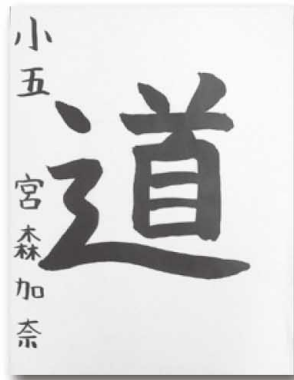
わたしが食べたおもちは二しゆるいです。一つは、きなこもちです。もう一つは、おかしのたけのこの里をおもちの中に入れました。たけのこの里を入れて食べたのは、はじめてでした。おもちの中がサクサクしていて、意外においしかったです。

次のおもちつきでは、何を入れて食べようかな…今からワクワクしています。

(評) 親戚そろってのおもちつき、すてきですね。楽しそうな様子が伝わってきます。

三沢小5年

宮森 加奈さん
かな



(評) 辺とつくりのバランスを意識して、丁寧に書くことができましたね。

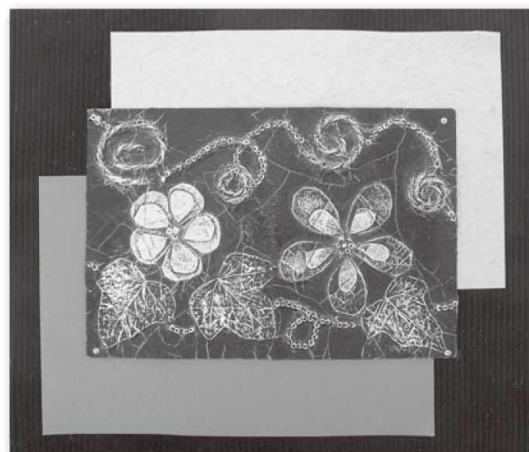
「お花」

皆野中2年

阿部 音里さん
ねり



(本人のコメント)
葉っぱは本物を使って、よう脈が出るようにしました。



皆野小4年

黒沢 莉巧さん
りく



(評) 筆の太さを生かして、堂々と大きく書けています。普段書くノートでも字形に気を配り、丁寧に書いているので、その成果が出ています。



国神小1年

柳 猛琉さん
たける



(評) みんなのたのしそうな声が、聞こえてきます。

